

★初期研修医が選ぶ教育ベスト1★

1 位 杉村宏一郎 先生(循環器内科)

★医学科6年生が選ぶ教育ベスト3★

1 位 宇都宮裕貴 先生(婦人科)

2 位 亀岡 淳一 先生(血液・免疫科)

2 位 海法 康裕 先生(泌尿器科)

3 位 野田 雅史 先生(呼吸器外科)

3 位 鈴木 直輝 先生(神経内科)

★医学科4年生が選ぶ教育ベスト3★

1 位 鈴木 陽 先生(微生物学)

2 位 井倉 毅 先生(生物化学)

3 位 助川 淳 先生(分子薬理学)

受賞コメント

★初期研修医が選ぶ教育ベスト1★

1位 杉村 宏一郎(循環器内科)

循環器内科の杉村宏一郎と申します。この度は The Best Teacher Awards をいただきまして、非常にうれしく思っているのと同時に、とても恐縮しております。このような賞をなぜ私がいただけたか、いまだに見当が付きません。「学生や研修医と接することができるということは、非常に恵まれた環境にあるのだ」とは肝胆膵外科の江川新一先生のお言葉であります。むしろ私のほうが若いエネルギーに接することで、パワーを貰っているのだなと本当に思います。最近、臨床以外の仕事が増えていき、学生さんや研修医と接する時間が年々減っておりますが、また評価いただけるよう頑張りたいと思います。ありがとうございました。

★医学科6年生が選ぶ教育ベスト1★

1位 宇都宮 裕貴(婦人科)

産婦人科の宇都宮と申します。この度は、“2008年度 教室員会 The Best Teacher Awards” に選出していただき、誠にありがとうございます。どこまで学生教育に関して貢献できているのか、自問自答しながらの1年間でしたので、ある一定の評価を頂けたことは大変光栄に存じます。

過去の自分を振り返りますと、「教育」というものをほとんど受けようとしない不真面目な学生でしたので、自らが教育担当になった当初はずいぶん戸惑いました。熱心に対応したつもりが不満や異なる要望を突きつけられたりし、一筋縄ではいかない教育実習の難しさを何度も感じました。まだまだ結論には至っておりませんが、個々人の性格や適正に合わせて対応し、最終的な目標に到達できるようサポートすることが大切なのかな？と今では考えております。

また、この歳になって多種多様な学生と接する機会が得られ、非常に貴重な経験ができた1年だ



と思っております。すっかり忘れてしまっていた、医師になる前の若い頃の志も少し思い出すことができました。

これからも自覚と心構えをもって診療および教育に励んでまいりたいと思います。今後とも、どうぞよろしくをお願いします。

### ★医学科4年生が選ぶ教育ベスト1★

#### 1位 鈴木 陽(微生物学)

微生物学講義を担当して日が浅いため、講義ごとに試行錯誤を繰り返していますが、日頃の努力がこのようなかたちで報われ非常に嬉しく思っています。学生時代を振り返ると、記憶に残っている講義はほんのわずかです。それも、思い出すきっかけは、どちらかという講義の内容ではなく、なにかのイベントやハプニングがほとんどです。講師の経験談、恐ろしくみえた標本、衝撃的なスライドなどは、今でも鮮明に覚えています。すべてが、今後医師として働きだした自分も遭遇し得る状況だったため、更に記憶に残っているように思えます。学生に講義をするにあたり、この「きっかけ」を作るようにしています。幸いな事に、この数年はSARSから新型インフルエンザと「感染症」が世間的にも注目をあびており、講義の小話のネタには欠きません。将来、私の講義を辛抱強く受けてくれた学生が、「そういえば、微物のスズキがあんな事しゃべっていたな」と思い出してくれるだけでも、講義をやった甲斐があると思っております。最後に、講義内容を一緒に考えてくれた教室スタッフ、感想をフィードバックしてくれた学生さんに感謝します。



2008年度委員長  
青木 正志

鈴木 陽  
(微生物学)

杉村宏一郎  
(循環器内科)

宇都宮裕貴  
(産婦人科)

2009年度委員長  
星川 康